

令和7年度 第6学年 授業改善推進プラン

台東区立蔵前小学校

1. 児童の学習状況

国語	○国語の学習が好きや得意だと考えている児童が多く、前向きに学習に取り組んでいる。 ○自分の考えと相手の考えを比べたり結び付けたりして話し合いをし、考えを深めようとする姿がある。 △目的や意図に応じて自分の考えが伝わるような書き表し方の定着ができていない。 △漢字を正しく書くことや既習漢字を文章で活かすことが苦手である。
算数	○普段の生活の中で算数の必要性を感じている児童が多く、意欲的に学習に取り組んでいる。 ○グラフを読み取り、項目間の関係の比較、必要な数量を見出すことができています。 △考え方や解法を、式や図、言葉を用いて説明することが苦手である。 △図形の特徴を理解し、正確に作図することが難しい。
社会	○地形や国旗、季節風など、社会科の基本事項についての理解が進んでいる。 ○図表や統計資料をもとに、考えを導き出す力が育っている。 △自分の考えを根拠とともに伝える力の育成が課題である。 △地理的な内容で誤答や無解答が目立つ。地図や資料を活用した空間認識の強化が必要である。
理科	○結果や問題に対するまとめから正解を導き、予想した理由を表現する。 ○実験器具適切に操作する技能が身についている。 △既習事項と結び付けて学習課題を設定し、予想と実験計画を立てる力が不十分である。 △実験結果と予想を比較して考察し、結論を導き出すことが難しい。

2. 各教科の具体的な取組

	特に育成を目指す能力	取組
国語	・自分の考えを表現する力 ・対話を通して考えを深める力 ・語彙を増やし活用する力	・考えや意見を伝えるための表現方法を、自らが選んで取り組むことができるよう提示する。 ・グループ活動を取り入れることで、お互いの意見を聞き合い、多様な考えに触れて活用できる機会を増やす。 ・言葉の宝箱(教科書)の活用や、読書の機会を増やして言葉や文章に触れる場面を作る。 ・国語辞典やインターネットの活用により言葉の理解を促す。
算数	・問題文の意味を正確に読み取り、解決する力 ・図形の特徴を捉え、正確に作図する力	・問題解決場面では、ペアやグループでの活動を設定し、根拠を基にした考え方を伝え合う機会を増やす。 ・数直線等、図の活用の習慣を定着させる。 ・作図の際、およその形の見当をつけてから取り組ませることで、見通しをもたせる。 ・教師による模範やデジタル教材を活用しながら、コンパスや三角定規などの道具の正しい使い方を徹底する。
社会	・表現力の育成 ・地理的理解を深める ・資料を読み取る力の向上	・授業内での話し合いや説明活動を通して、自分の考えを伝える機会を増やす。 ・地図帳やデジタル資料、映像などの具体物を活用し、空間的な理解を深める授業を計画する。 ・実際の統計資料などを使い、自分や社会とのつながりを意識した学習を進める。
理科	・既習事項と結び付けて学習課題を設定し、予想を立てて実験の計画を立てる力 ・実験結果と予想を比較して考察し、結論を導き出す力	・単元の課題を明確にし、既習の実験や生活体験など導入を工夫することで意欲的に取り組めるようにする。 ・実験の結果を表やグラフで整理、図や絵などで可視化して整理し、学習課題や予想と比較して考える習慣を身に付けさせる。